

学校教育目標

『ふるさとのよさを実感するとともに、自らよりよい社会の形成に貢献する子どもの育成』

《めざす子ども像》

- ・問題を発見し、その解決に自から関わる子ども (問題発見・解決力)
- ・自分の考えが相手に伝わるように工夫して表現する子ども (表現力)
- ・互いの違いを認め合い、良好な人間関係を築く子ども (人間関係調整力)

教育課題

- ・学習習慣と基礎的・基本的学習内容が定着と活用する力の育成
- ・「読む」「書く」「伝える(表現)」力の育成
- ・コミュニケーション(傾聴、自己表現)技能の育成
- ・人間関係構築(関係性や個人の見方等固定化)

経営課題

- ・教育課程の質と量の管理(含 新指導要領への円滑な移行)
- ・基礎的・基本的な学習内容の習得とそれを活用する授業力の向上(ICT活用)
- ・生徒指導及び支援における情報共有と組織的対応の推進(関係機関との連携推進)
- ・校種間連携や地域連携の推進
※学校運営協議会及び地域学校協働活動の着実な推進

重点目標

授業や行事などで、自分の考えをもちそれを表現できる生徒の育成

○忠見小重点目標

『かえる(ふり返る・やり変える)』ことができる子どもを育てる

○川崎小重点目標

課題解決に向けてともに学び磨き合う子どもの育成

経営方針

- 1 教育活動
 - ・教育課程編成の基本方針に沿った教育指導計画、教科年間指導計画の作成及び実施・評価
 - ・言語活動を生かした行事や活動の充実
 - ・学習規律の徹底
- 2 組織運営
 - ・各部の機能の充実と運営委員会との連携推進(ラインの明確化)
 - ・危機管理体制の確立及び報告、連絡、相談の充実、迅速な対応の徹底
- 3 教育環境
 - ・小中連携したルール、学習習慣づくり等の再確認と実施
 - ・凡事徹底(挨拶、掃除、時間厳守)
- 4 人材育成
 - ・互いの実践に学ぶ自己研鑽意識の醸成

教育課程編成の基本方針

- 重点目標達成をめざし次のように編成する
- 1 教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動の関連と調和のとれた教育課程編成
 - 教科(新指導要領への円滑な移行)
 - ・わかる授業づくり(めあて、振り返り)と家庭学習につながる授業の実践
 - ・課題に気づき、自分の考えをもちそれを他者の考えと交流する授業の実践
 - ・生徒の実態に応じた個別指導の充実
 - 道徳(考え議論する道徳の充実)
 - A:「自主・自律」 B:「相互理解・寛容」
 - C:「社会参画」「集団生活の充実」「郷土を愛する態度」
 - 総合的な学習の時間(学校教育目標に沿った活動内容の再構築)
 - 課題設定⇒情報収集⇒まとめ⇒発表(表現)の学習過程を基本にした探究活動の設定
 - 特別活動(話し合い活動の推進)
 - ・生徒による自主的・実践的活動の推進
 - 2 教育活動全般に共通した配慮事項
 - 単元構成の工夫
 - ・「考えたい」「調べたい」「できるようになりたい」「分かりたい」と生徒が思う課題
 - ・話し合いの必要性を生徒が感じる

経営の重点

- 1 教育活動
 - 学力向上に向けて
 - ・中位層以上の生徒の学力が向上する研究主題に基づいた授業研究の推進
 - ・年間を通した基礎学力定着の取り組みと低位層の生徒の学び直しの支援
 - 人間関係づくりについて
 - ・生徒一人ひとりの居場所、役割がある学級経営と授業づくり
 - ・主体的な生徒活動推進(行動目標の意識化)
- 2 組織運営
 - ・経営参画意識の高揚(効果的な Check と Action の推進)
- 3 教育環境
 - ・小中連携した指導計画の作成(総合、学級活動、人権学習、性教育 等)

研究主題

根拠をもとに自分の考えをまとめ表現できる生徒の育成
— 対話のある授業づくりを通して —